

庭先のモクセイ類を食樹する害虫の正体は

ヘリグロテントウノミハムシ です！

数年前から県中南部地域で見られ始め、現在は県内全域に広がってきています。



幼虫による
新葉組織の
食痕(褐変)

ヘリグロテントウノミハムシの被害

寄主植物：ヒイラギ、ヒイラギモクセイ、キンモクセイ、ギンモクセイなど

成虫：体長3.2～4.0mm, 前翅に赤色紋, 名前のおりピンピンと跳ねます

蛹：体長約4mm, 橙黄色

幼虫：終齢幼虫の体長は約7mm。橙黄色で頭部、前胸背、脚は暗褐色



成虫



蛹

防除対策

- 落ち葉や表層土の除去・防除（成虫越冬場所をなくす, 前蛹・蛹の除去）
- 樹木に登録のあるスミチオン乳剤, トレボン乳剤の散布が有効
- 防除適期は幼虫期及び新成虫発生期
- 単年での根絶は難しいので, 地域全体で2～3年継続して防除